

令和6年1月30日

芦屋市議会議長  
帰山 和也 様

視察代表者 福井 利道

行政視察について（報告）

標記のことについて、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 視 察 者 福井利道、川上あさえ、岩岡りょうすけ、原なつ子、  
福井美奈子  
計5人
- 2 視察日時 令和6年1月22日（月）～1月24日（水）[3日間]
- 3 視 察 先 ①佐賀県武雄市（1月22日）  
②佐賀県唐津市（1月23日）  
③長崎県壱岐市（1月24日）【中止】
- 4 視察項目 ①佐賀県武雄市  
ICT教育について  
②佐賀県唐津市  
保育人材の確保について  
③長崎県壱岐市  
公共施設総合管理計画及び個別施設計画について
- 5 報告事項 別添のとおり
- 6 そ の 他 1月24日の視察は、予定していたフェリーの運航中止によ  
り実施不可となったもの

以 上

## 令和 5 年度 行政視察報告書

視 察 日 時	令和 6 年 1 月 2 2 日 (月) 1 4 時 3 0 分 ~ 1 6 時 0 0 分
視 察 先	佐賀県武雄市
視 察 内 容	ICT 教育について
視 察 目 的 (視察先選定理由)	他市より先んじて教育 ICT に取り組んでいる武雄市から施策を学び、芦屋市の教育に資するため。
調 査 概 要	<p>「未来を創る武雄の教育」 武雄市は他の自治体に先駆けて教育部門での ICT に取り組み、成果を上げられてきました。その内容について調査をしてまいりました。</p> <p>平成 2 1 年度 電子黒板配置開始 平成 2 2 年度 山内東小に 1 8 6 台・武内小に 9 0 台の iPad を導入 平成 2 5 年度 武雄市 ICT 教育推進協議会を立ち上げ、今後の活用について諮問 平成 2 6 年度 全小学生に 1 人 1 台の Android タブレット 3, 1 5 3 台導入 平成 2 7 年度 全中学生に 1 人 1 台の Android タブレット 1, 5 5 0 台導入</p> <p>※反転授業の開始 令和 2 年度 全児童生徒 1 人 1 台の Chromebook 4, 4 0 0 台導入 (運用管理・セキュリティ対策・起動時間などから Chromebook に変更。また、プラットフォームを Classroom とし、アプリは Meet・Forms・Jamboard・Slides を使用)</p> <p>※武雄式反転授業とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒がより意欲的に授業に挑める</li> <li>● 教師が学習者の実態を正確に把握して授業に臨める</li> <li>● 授業では「協働的な問題解決能力」を育成する</li> <li>● 従来の授業では学校の授業のみで完結するが、反転授業では家庭での予習にワークシートや小テスト・アンケートを実施して把握でき、授業時間を有効に使える</li> </ul> <p><u>教職員への研修体制</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT 基本研修会 (GoogleChrome の基本操作) 対象：新しく武雄市に転入した教職員</li> <li>● 公開授業の参観研修 リーディング DX スクール事業：武雄中・武雄小 「個別最適な学び」「協働的な学び」教育実践研究：武雄北中学校区 →個別具体的な学びで知識や技能の習得、調べ学習などで思考を深める →他の生徒との話し合いや協働での資料作成やグループでの発表、振り返り 日常的な ICT 活用、1 人 1 台端末 自己決定・自己調整・相互啓発</li> <li>● 視察研修 県外の研究公開参観：熊本県高森町・愛知県春日井市</li> </ul>

	<p>学習者用デジタル教科書の活用</p> <p>小学校低学年(国語または算数) 中学年(国語・算数・音楽の中から1教科)</p> <p>高学年(国語・算数・理科・社会・英語・音楽の中から3教科)</p> <p>中学校(国語・数学・理科・地理・公民・英語・技術の中から3教科)</p> <p>未だ、教科書を持たずに通学するまでには至らず。</p> <p>欠席者についても対応可能で、ネット環境を利用すれば内容の把握もできる。</p> <p>今後の不登校対策にも有効である。</p>
<p>所 感 (意見・感想・ 今後の課題等)</p>	<p>行政としての事業決定に向けての発端は、やはり危機感を持った市長の政治的主導が大きく、その意を汲んだ教育長や市職員がいかに実現するかが、実際評価され選ばれる自治体になるのだと痛感しました。</p>

## 令和5年度 行政視察報告書

<b>視 察 日 時</b>	令和6年1月23日（火）13時15分 ～ 14時45分																								
<b>視 察 先</b>	佐賀県唐津市																								
<b>視 察 内 容</b>	保育人材の確保について																								
<b>視 察 目 的 (視察先選定理由)</b>	待機児童解消に向けた施策でも重要である人材確保の手法を学び、芦屋市の保育事業の一助とするため。																								
<b>調 査 概 要</b>	<p>「唐津市保育士応援事業」  <u>保育行政の概要</u>          子供の人数は未就学児童数では減少傾向にあるが、入所率は上昇している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 25%;">未就学児童数</th> <th style="width: 25%;">入所児童数</th> <th style="width: 35%;">入所率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>6,077人</td> <td>4,621人</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>5,885人</td> <td>4,598人</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>5,678人</td> <td>4,476人</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>5,477人</td> <td>4,307人</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>5,197人</td> <td>4,170人</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設数は令和6年現在ではほぼ必要数が充足されており、地域間のミスマッチが多少発生している状況である。          認可保育所は公立2所・私立53所の計55所          認可外は公立1所・私立14所の計15所          保育施設としては市内に70カ所が存在し公立幼稚園は0園となっている</p> <p><u>市独自の保育料軽減施策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国基準額よりも低額で市基準保育料を規定</li> <li>● 多子世帯に特化した保育料軽減(平成28年度～)</li> </ul> <p><u>待機児童の状況</u> 令和5年10月現在          国定義の待機児童 0人 潜在的待機児童 40人          保育人材確保事業から保育士応援事業へ          平成30年度から3年間行った「保育人材確保事業」を引き継ぎ、令和3年度から「保育士応援事業」として待機児童対策に取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 保育士宿舍借り上げ支援事業（国補）              宿舍の借り上げで施設に勤務する保育士に貸し出す保育所に対し4分の3を補助</li> <li>② 保育支援者雇用支援事業（国・県補）              新規で保育支援者を雇用する保育所に対し費用を補助</li> <li>③ 保育補助者雇用支援事業（国・県補）              新規で保育補助者を雇用する保育所に対し費用を補助</li> <li>④ 保育士就職準備金給付事業（市単独）              新規内定者の保育士等に就職準備金</li> </ol>	年度	未就学児童数	入所児童数	入所率	元年度	6,077人	4,621人	76%	2年度	5,885人	4,598人	78%	3年度	5,678人	4,476人	79%	4年度	5,477人	4,307人	79%	5年度	5,197人	4,170人	80%
年度	未就学児童数	入所児童数	入所率																						
元年度	6,077人	4,621人	76%																						
2年度	5,885人	4,598人	78%																						
3年度	5,678人	4,476人	79%																						
4年度	5,477人	4,307人	79%																						
5年度	5,197人	4,170人	80%																						

	<p>⑤ 潜在保育士現場復帰支援事業（市単独）</p> <p>潜在保育士等の復帰への不安解消のため、保育現場で実習をする場合の勤務相当分の報酬を支給する保育所等に対し費用を補助</p> <p>確保事業実績(市単独)部分のみ</p> <p>令和4年度 ④就職準備金17人 ⑤潜在保育士0人</p> <p>令和5年度 ④就職準備金23人 ⑤潜在保育士1人</p> <p>保育従事者の採用を大きく上回る退職者が発生しているため、歯止めがかかっていない状況であるが、事業を展開していなければどうなっていたか。</p> <p>補助金の制度をつくるにあたり規則を整備している。</p> <p>基本的には、採用予定者が急に辞退しても返金を求めることまでは考えていないようで、公金の取扱いとしては今後の課題としている。</p> <p>保育士の採用に関しては、ほとんどが唐津市内に居住の市民のため、預ける側も安心できる。</p>
<p>所 感 (意見・感想・今後の課題等)</p>	<p>都市部において保育行政の自治体間競争を余儀なくされている芦屋市は、足並みを揃えすぎている感はある。施設の一定整備が整い保育士の確保が難しくなるのは必定であり、地方都市としてその期を迎えている中、苦勞して確保策を行っている唐津市は参考になった。市内在住者の採用も進んでいるようで、芦屋の子供は芦屋の市民で育てる環境が醸成できればと感じた。</p>

視察の様子（令和5年度）

視 察 先 ①

1月22日  
佐賀県武雄市



武雄市教育委員会新しい学校  
づくり課の職員の方にご説明  
をいただきました。



視 察 先 ②

1月23日  
佐賀県唐津市



唐津市こども家庭課の職員の方  
にご説明をいただきました。

